

阪神リハの新人研修

阪神リハで学べること

阪神リハの集合研修は多くありません。

大事なのは実践（OJT）だと考えているからです。

入職してからは、班の主任または先輩が、カルテの読み方からリハのやり方まで、丁寧にしっかり教えてくれると思います。

集合研修は少なめですが、その代わりに私たちが行うリハのエビデンスの素となる資料は、共有のPC内にだいたい網羅されていて誰でもみることが出来ます。

集合研修プログラム

できるだけ現時点での最新の情報を集めて、皆さんが優先的に知っておくべきでさらに患者さまに利益があることを厳選してお伝えしています。

エビデンスについて

阪神リハのリハスタイル

ストレッチのエビデンス

身体活動について

転倒予防について

脳卒中の移動のリハ

脳卒中の上肢のリハ

嚥下のリハ

言語のリハ

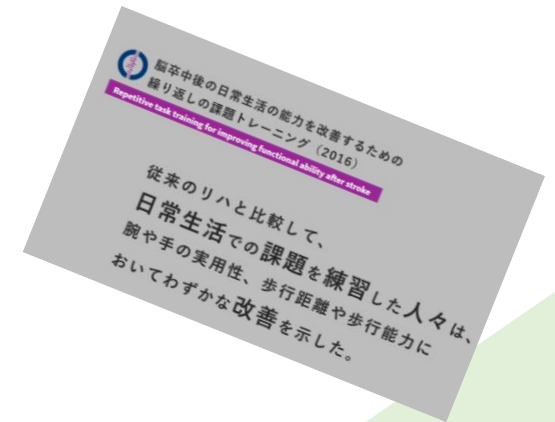
心不全のリハ

呼吸器のリハ

課題指向型トレーニング

運動学習について

など



On the Job Training プログラム

カルテの読み方や患者さまとのコミュニケーション、リハの組み立て方や介助方法はもちろんリハ総合実施計画書やサマリーなどの書類の書き方まで、班の主任や先輩が丁寧にしっかりと教えてくれます。

4月前半 見学～先輩がついてリハ実施（一部）

4月後半 先輩がついてリハ実施（全部）～一人でリハ実施

5月前半 徐々に担当を持ち始める

5月後半以降も先輩と一緒にリハに入る機会がある

オリジナルテキスト

NEJMなどの4大医学雑誌やコクランレビュー、アメリカのガイドラインなどを翻訳し原著も確認できるような資料です。少し分量が多いので自己学習向けです。

身体活動に関するガイドライン

転倒予防について

脳卒中のリハについて

脳卒中嚥下と言語のエビデンス

ストレッチのエビデンス

心不全のリハ

呼吸器疾患のリハ

など

見ざる聞かざるエビざる



一部資料公開しています